【 診療科：口腔外科 】
【 レジメン登録番号：OS-10 】

〈Pembrolizumab＋CDDP＋5FU併用療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール（day）											
			1	2	3	4	5	6	7	8	・・・・・	15	・・・・	21
キイトルーダ	200mg	div	○											
シスプラチン	100mg/㎡	div	○											
フルオロウラシル	1000mg/㎡	civ	○	○	○	○								

【1コース期間： 21 日】　　【総コース数： 6コース】

【適応癌種：頭頸部癌　　】

【時期： 術前 、 術後 、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

〈第1日目〉

Rp	薬剤名	投与経路（速度）
Rp.1	アプレピタントカプセル 125mg	p.o.(Rp.6の30分前)
Rp.2	キイトルーダ 200mg	div（30分で）
	生理食塩水 100mL※1	
Rp.3	生理食塩水 50mL	div（全開で）
Rp.4	フィジオ140 500mL	div（1時間で）
Rp.5	静注用マグネゾール 10mL	div（1時間で）
	フィジオ140 500mL	
Rp.6	デキサート 9.9mg※2	div（15分で）
	5-HT_3R Blocker 1A	
	生理食塩水 50mL	
Rp.7	マンニットールS 300mL	div（30分で）
Rp.8	シスプラチン 100mg/㎡	側管div（2時間で）
	生理食塩水 500mL※3	
Rp.9	フィジオ140 500mL	div（1時間で）
Rp.10	フルオロウラシル 1000mg/㎡	civ（24時間持続）
	ソルデム3A 500mL	

〈第2～4日目〉

Rp	薬剤名	投与経路（速度）
Rp.1	アプレピタントカプセル 80mg	p.o.（day2～3のみ）
Rp.2	デキサート 6.6mg	側管div（30分で）
	生理食塩水 100mL	
Rp.3	フルオロウラシル 1000mg/㎡	civ（24時間持続）
	ソルデム3A 500mL	

【参考文献：Lancet 2019;394:1915-28 】

【備考：①6コース終了後、増悪なければキイトルーダ単剤による維持療法を行う（35コースまで） 】

【備考：※1・・・インラインフィルター（0.2～5μm）を用いて投与すること。最終濃度が1～10mg/mLとなるように調製すること。 】

【備考：※2・・・アプレピタントカプセル未使用時は、デキサートの投与量を 19.8mg/回へ倍量にする。 】

【備考：※3・・・生理食塩水の量はシスプラチンと合わせて500mLとなるようにする。 】